

クラブの運営及び指導方針について

波田白樺ジュニアクラブ

波田白樺ジュニアクラブは2002年3月に少年軟式野球のクラブチームとして、「子供のための誰でも野球ができる環境作りを目指し、野球の基本と楽しさを教えたい」をモットーに発足しました。運営体制としては、理事会、指導者(監督、コーチ)と保護者会でクラブ運営に当たっています。お陰様で発足から大きな事故、怪我もなく、また野球ができる環境が整ってきました。2007年には松本市軟式野球連盟に加盟し大会を運営する一員として活動しています。クラブの年間の主な活動は毎週の練習と大会への参加、楽しい夏合宿や保護者会による行事等行っています。クラブとしてはまだまだ発展していく過程であり、より良いクラブチームを目指しますのでよろしくお願い致します。

■波田白樺ジュニアクラブ発足の思い

- ・誰でも野球ができる環境をつくること。
- ・野球の基本と楽しさを教えること。
- ・存続させること。(卒業生が指導者になれば理想です)

■波田白樺ジュニアクラブの理念

健全な身体の育成とスポーツマンとしての秩序と礼儀を鍛錬すると共に、野球技術の基本を習得し、そして野球の楽しさを知ることにより、軟式野球の底辺の拡大と発展に寄与します。野球を通じて世代を超えた親睦を深め、町づくりへの貢献と地域から愛されるクラブチームを目指します。

■クラブ運営方針

- ・子供たちの野球ができる“場”」のことを常に目線(原点)において運営していきます。
- ・頑張って、できない事ができるようになり自信となれば幸いです。
- ・安全、健康管理を最優先します。

■指導方針

野球を通じて、誰にでも挨拶ができる、チームとしての行動ができることを身につける。

①まず野球が好きになること。

- ・小学生は野球の入り口であり、野球が好きになる時期である。
- ・やっていて面白い、楽しいが重要。でも試合に勝たない野球は本当の面白さはわからない。

②野球の基本を教える

- ・野球を覚える。(野球は攻める時は塁を進める、守る時は塁を進めさせない)
- ・キャッチボールと全力プレーが基本。
- ・走る、打つ、守る、の技術的な基本を覚える。応用は基本ができてから。

③精一杯頑張ることの大切さを教える。

- ・人と比べるのではなく自分がどれだけ上手になったか(がんばった)が重要。
- ・何事も最善をつくす。できなくてもやってみようとするのが大事。